



やまな

袋井市立山名小学校
学校だより No.12
令和4年11月24日発行

～11/21(月)の会礼での教頭の話～

11月1、2日の2日間、6年生が修学旅行で山梨県に出かけました。一緒に行っていた校長先生から、6年生の皆さんは約束や時間を守って行動することができていて、清々しい気持ちで一緒に過ごすことができましたと聞きました。

11月9～11日の3日間には、5年生の観音山自然教室がありました。教頭先生は、1日目の山頂登山に参加し、星の広場という場所まで行きました。ごつごつした大きな岩が多く、ひざを高くあげないと登っていくことができませんでした。先生もそうでしたが、苦しくて、なかなか先に進めない子もいました。そんなとき、「あと少しだよ。」「頑張る。」と励ましてくれる友達がたくさんいました。先生にも、「教頭先生がんばって。」と言ってくれたので、広場まで行くことができました。山登りは大変でしたが、励ましの言葉をもらって、うれしい気持ちになりました。5年生や6年生の皆さんは、1学期の始業式で校長先生が山名小をより良い学校にするためにお願いした「クラスの中で、自分ができることは何かを考えて、みんなのために行動します。」や「きまりを守り、下級生のよい手本になります。」を、しっかり実行していますね。校長先生がお話した4つのお願いが校長室前に掲示してあるので、良い学校にするために、いつも確認しましょう。

さて、12月4日～10日は人権週間です。1948年12月10日に「世界人権宣言」が国連総会で採択されたのを記念し、1950年の国連総会で12月10日を人権デーと決めました。そのため、12月10日は日本だけでなく世界の国々でも「人権」について考える日になっています。

「人権」ってなんだか分かりますか？「人権」とは、一人ひとりが生まれたときから持っている「自分らしく生きる」権利のことで、すべての人が思い合う心によって守られなければならないものです。みんながみんな違うように、全部が同じ人は誰もいません。「人権」は難しいことではなく、誰でも、心で理解して感じることができます。一人ひとりの違いを認め、自分や相手の良いところを見つけ、それぞれが大切な存在であることを再確認する、大切な1週間としましょう。見つけた友達の良いところを「きらりレター」で伝えるのもいいですね。

また、思いやりは、「言葉」に表れることが多いですね。でも、時に、その言葉の使い方をあやまってしまうこと、相手を嫌な気持ちにさせてしまうことがあります。言葉によって、誰かを傷つけることも励ますこともあります。人に自分の気持ちを伝えるには、言葉を選び、考えて伝えることが大切です。では、友達や身の回りの人にどんな言葉を掛けたらいいでしょう。皆さんはどんな言葉を言われたらうれしいですか。先生は「ありがとう」です。「ありがとう」と相手に伝えることで、お互いとても気持ちよくなり、自然に笑顔が生まれ、心が温かくなります。

長かった2学期も、残り1ヵ月程となりました。互いに「ありがとう」の声を掛け合って、毎日、みんな気持ちよく、仲良く過ごしていきましょう。



【12月4日(日)は地域防災訓練】

12月4日(日)の地域防災訓練の实施にあたり、学校では、年度当初に配布し、常時ランドセルの中に入っている「子ども防災ハンドブック」を活用して、防災について考える時間を設定していきます。登下校中に地震が起きたとき、どのようにしたらよいかについても考えていきます。

各御家庭でも、「自分の命を守るために、どうすればよいか。」「災害が起きた後、どこに避難すればよいか。」等について、再度、確認する機会としてください。また、お子さんにも訓練に参加するよう声掛けをお願いします。

